

宮城県考古学会連絡紙

第47号

2009年10月9日発行

事務局 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1
東北学院大学文学部歴史学科 佐川研究室気付

平成21年度宮城県遺跡調査成果発表会の日程決まる

平成21年度宮城県遺跡調査成果発表会は、宮城県考古学会細則第10条の12月第2土曜日実施の規定により、下記の日程になりました。なお、詳細につきましては、次号の連絡紙でお知らせいたします。

日程：平成21年12月12日(土) 10:00～開会 会場：東北歴史博物館

学会情報

2009年度日本考古学協会 山形大会

会場：東北芸術工科大学（山形県山形市上桜田3）

日程：10月17日(土)

公開講演会 13:00～15:20（本館201）

- ・田口洋美「技術行動系研究と民族考古学」
- ・ジャックベルグラン「ヨーロッパにおける石刃剥離」

研究発表会分科会 15:30～17:30

- ・石器製作技術と石材（本館407）
- ・東北縄文社会と生態系史（本館201）
- ・霊地・霊場の考古学（本館408）

ポスターセッション 13:00～17:00

10月18日(日)

研究発表分科会 9:00～16:00 ポスターセッション 10:00～15:00

図書交換会 10:00～15:00

10月19日(月) 見学会 8:30～16:00

第1回 東北古代土器研究会公開シンポジウム

7～8世紀の須恵器生産を巡る諸問題を研究テーマとして、シンポジウムを開催します。

主催：東北古代土器研究会 後援：福島県文化振興事業団 福島県考古学会

会場：福島県文化財センター白河館「まほろん」講堂

日程：11月21日(土) 13:00～

<発表報告>

◎地域ごとの須恵器生産の特質 13:10～

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 浜・中通り地方（荒淑人・藤木海） | 13:10～13:35 |
| 2. 会津地方（山中雄志） | 14:00～14:25 |
| 3. 多賀城周辺（櫻井友梓） | 14:25～14:50 |
| 4. 陸奥中部（吾妻俊典） | 15:00～15:25 |
| 5. 出羽南部内陸部（伊藤邦弘） | 15:25～15:50 |

◎技術系譜と地域間交流

1. 須恵器窯構造からみた地域圏 (菅原祥夫) 15:50~16:20
11月22日(日) 9:40~

◎技術系譜と地域間交流

1. 横穴墓の系譜 (百々千鶴) 9:50~10:20
2. 東海産須恵器の流通 (佐藤敏幸) 10:20~10:50

<記念講演>

「須恵器生産の特徴と画期」北野博司(東北芸術工科大学) 11:00~12:00

※関連資料展示:両日にわたり、会場内に発表関連資料を展示します。

参加料(資料代):500円

参加申し込み:別紙参加申し込み書により、メールにて下記宛にお申し込みください。

なお、メールアドレスをお持ちで無い方は、FAX・郵送でも受け付けます。

①福島県内の方:東北古代土器研究会シンポジウム受付 菅原宛

〒961-0835 福島県白河市白坂一里段 86

福島県文化財センター白河館気付 E-mail: ※個人情報につき連絡先削除

FAX 0248-21-1075 電話のお申し込みは、ご遠慮下さい。

②福島県以外の方:東北古代土器研究会シンポジウム受付 井上宛

〒020-0137 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字湯舟沢 327-13

滝沢村埋蔵文化財センター一気付 E-mail: ※個人情報につき連絡先削除

FAX 019-694-9007

申し込み締め切り10月30日(金) 定員100名先着順で定員になり次第締め切ります。

博物館等イベント情報

東北学院大学博物館 開館

平成21年11月18日(水)開館セレモニー



東北学院大学博物館 完成予想図

土樋キャンパスの東側、新愛宕橋へと続く国道4号線に面した約600㎡の敷地に建物面積約300㎡の平屋の博物館が建つ。

展示室、収蔵庫、学芸事務室兼実習室を配置し、村田町駕籠沢遺跡出土旧石器時代石器群、加美町大塚森古墳出土資料、南相馬市歓請内古墳出土資料などの考古資料やこれまで収集された境澤文書、松島の海底から発見された板碑群などが主に展示される。また、図書館所蔵の貴重本なども合わせて展示する予定である。将来、新たな展示室が確保された時には、全学的な知的財産を紹介する展示を再度作り上げることを想定している。

(東北学院大学博物館学芸員課程報 2009 MachNo.31 より)

東北歴史博物館 多賀城市高崎一丁目 22-1 Tel 022-368-0101

東北歴史博物館開館10周年記念特別展

東北の群像 みちのく祈りの名宝

期間: 9月19日(土)~11月1日(日) 民俗芸能交流会 10月25日(日)

▼館長講座

第11回「地方官衙(国府・郡家・駅家)と瓦」 10月17日(土)

- 第12回「多賀城系瓦窯の画期と意味」 11月 7日(土)
 第13回「造瓦所経営」 11月21日(土)
 第14回「文字瓦の種類と意味」 12月 5日(土)
 第15回「多賀城創建瓦の源流と地方への伝播」 1月 9日(土)

仙台市地底の森ミュージアム 仙台市太白区长町南 4-3-1 Tel 022-246-9153

特別企画展 仙台平野の弥生墓 おくりの場所

仙台平野の弥生時代の「お墓」に残されたものを中心に展示し、弥生時代の人々の死者への想いを探ります。 期間：10月16日(金)～12月6日(日)

講演会「西台畑遺跡等の調査について 弥生時代を中心に」

講師：工藤信一郎(仙台市教育委員会文化財課)
 日時：11月14日(土) 13:30～15:30(要予約)
 場所：地底の森ミュージアム研修室

仙台市博物館 仙台市青葉区川内26 Tel 022-225-3074

臨時休館中 ～平成22年4月19日(月) 展示室リニューアル及び天井耐震工事のため

名取市文化会館

第12回ふるさとの名取の歴史展「名取熊野三山信仰の歴史と背景」

同時開催 新宮市教育委員会 “世界遺産”熊野新宮「蓬莱山の御正体」展

期間：10月15日(木)～11月11日(水)
 場所：名取市文化会館2階 展示ギャラリー

記念講演会 「熊野信仰の歴史」

日時：10月24日(土) 14:00～
 場所：名取市文化会館 中ホール
 講師：新宮市文化財保護審議会委員 山本殖生氏、東北歴史博物館学芸部 政次 浩 氏

亘理町郷土資料館

▼「企画展 ～古墳から三十三間堂官衙遺跡まで～」

期間：10月6日(月)～11月22日(日) 場所：亘理町郷土資料館企画展示室

お宝発見！向田まつり

日時：10月24日(土) 11:00～12:30 場所：高砂市民センター 縄文弓矢体験
 日時：10月25日(日) 10:00～15:00 場所：向田文化財整理収蔵室
 展示室・収蔵庫の公開など

現地説明会等情報

多賀城跡第81次調査 現地説明会

日時：11月7日(土) 午前10:30～ 場所：多賀城政庁跡南西隅 概要：未定

東松島市赤井遺跡発掘調査中(～11月上旬まで)

古代牡鹿地方の倉庫地区が発見されました。現地説明会：11月7日(土) 10:00～

* 7・8日 10:00～15:00まで見学ができます。

* 赤井遺跡展：11月7・8日(土)(日) 10:00～15:00

於：東松島市赤井市民センターも開催

* 文化庁主催『発掘された日本列島2009』に矢本横穴墓群・赤井遺跡が出品されています。

役員会・幹事会の動向

《第3回宮城県考古学会代表幹事会・役員会を合同で開催しました》

10月4日(日)東北学院大学考古学実習室で、協議として1. 遺跡調査成果発表会の準備について 2. 次期役員交代にむけて が検討され、総務・企画・会誌・連絡紙の幹事より近況報告がありました。その他、来年度の総会での研究発表会のあり方についても話題が出ました。

総務幹事会からのお知らせ

2009年度会費未納の会員の皆様、会費を早期に納入願います。

2007年度以前の会費が未納の会員の方に対しましては、会費納入を確認次第、会誌11号をお送りいたします。ご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。また、住所・電話番号(FAX・E-mail)・勤務先(所属校)などに変更がございましたら、下記事務局までご連絡願います。

☆☆☆ 宮城県考古学会刊行物 頒布案内 ☆☆☆

会誌『宮城考古学』第4号・第5号・第6号頒価各1,660円、第7～11号頒価2,660円、価格は送料込みです。購入を希望の方は、下記事務局あて郵便・電話・FAX等でお申し込みの上、郵便振替にて下記入会案内の口座に代金をお送りください。

問い合わせ・連絡先：総務幹事会 代表 佐川正敏（事務局）

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 東北学院大学文学部佐川研究室

TEL：022-721-3245、FAX：022-264-6530

宮城県考古学会入会案内

当学会では、考古学や歴史を学んでいる方、興味関心がある方など会員を随時募集しています。入会申し込みは、氏名（フリガナ）・郵便番号・住所・電話番号（FAX、E-mail）、勤務先（学校名）の連絡先を明記の上、年会費（4,000円・学生等2,500円）を郵便振替にてお送りください。なお、通信欄には必ず「入会」とお書きください。

郵便振替口座 02210-1-41792 宮城県考古学会

会誌「宮城考古学」への投稿

<書式について>

- ①A4版横組（縦297mm×横210mm） 版面は縦233mm×148mmです。
- ②本文は10.5ポイント・明朝体で横書き・45字×35行。註・引用文献は9ポイント・明朝体で、横書き・47字×48行。ヘッダやフッタなどは記載しないでください
- ③論文：本文、挿図、写真、表などを含め、18ページ以内。
- ④研究ノート：試論、予察、着想などの短論文。12ページ以内。
- ⑤報告・速報：注目される発掘調査の報告や測量調査など。8ページ以内。
- ⑥資料紹介：8ページ以内。

なお、投稿原稿の実費負担の抜刷部数については、これまで明確な基準がなかったため、投稿者の皆様にご迷惑をおかけしてまいりましたが、抜刷部数は最大100部（進呈30部を含む。）までと致します。このほかについては、会誌投稿案内の通りです。

<連絡先>宮城考古学会会誌幹事会 代表 菅野 智則

情報・寄稿などをお寄せ下さい！！

考古学に関する情報や寄稿、会員通信にも連絡紙を役立ててもらいたいと思います。また、連絡紙の内容や取り上げて欲しいこと、提言などご意見ご要望もお待ちしております。

なお、webサイトでは随時情報を募集しております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

連絡先：茂木好光 宛 ※個人情報につき連絡先削除

E-mail miyagikouko@hotmail.co.jp（宮城県考古学会）

「宮城県考古学会webサイト」URL <http://www.k5.dion.ne.jp/~mkouko/>